

## 九星、9年間のサイクルとは

人生のサイクルは九年間で一巡する。従って、10年目にはまた同じサイクルが始まる事となる。好調期が半分、衰運期が半分となる。好調期には何をやっても大丈夫、衰運期には何をやっても駄目ということではない。ご商売で例えるならば、新規の事業を好調期のピークで始めることは、発想は素晴らしい企画の基、実行に移されるが、事業が実体化されてくる時点では衰運期の最悪時に至っているということになりかねない。逆に、衰運期の最悪期に障害と生みの苦しみを味わった新規事業であっても、日に日に陽の目を見るにあたり、気がついた時には好調期に至り、思わぬ成果を得られることとなる。一般的に、好調期、衰運期というタームの中で気学サイクルを運用する傾向にあるが、このようなタイミングラグを見据えての判断が重要である。

